

三カ国共同プレス声明（骨子）

平成 23 年 7 月 23 日

●安全保障上の対処

- 日米・韓米同盟、日韓パートナーシップがアジアの平和と安定に不可欠との認識。
- 二国間の相互の責任に立脚して共通の安全保障上の脅威に対処。

●北朝鮮

- 2005 年の六者会合共同声明に対するコミットメントを改めて表明。
- 六者会合再開には南北対話を含めた北朝鮮による誠意ある努力が必要。
- 7 月 22 日に当地で実施された非核化に関する南北対話を歓迎し、南北対話が今後とも継続され前進すべきプロセスである旨強調。
- 北朝鮮に挑発的行動を思いとどまらせるための努力を継続。
- 非核化に対する真のコミットメントを示すための具体的行動を促す。
- 北朝鮮の挑発的かつ好戦的な態度は三か国すべてを脅かすものであり、そのような態度には三か国すべてが結束をもって対応。
- 北朝鮮に、拉致及び離散家族再会の問題を解決するための行動を要求。
- 中国・ロシアとの協力を一層拡大。
- 北朝鮮による拡散防止、制裁の完全実施のために協力。
- 北朝鮮のウラン濃縮計画は安保理決議・六者会合共同声明の違反。
- 六者会合再開のためにはウラン濃縮計画への対処が必要。

●アジア地域の協力枠組み

- ARF が平和・安定促進のための具体的取組ができるよう進化を支援。
- 東アジア首脳会議を不拡散、海上安全保障、災害救援等の問題について議論するフォーラムとして支援。

●グローバルな問題

- 不拡散、人権、開発協力を含むグローバルな問題に関する政策的な協調・協力を強化。
- 開発協力政策(特に東南アジア、太平洋諸島、アフリカ)について連携強化。
- アフリカ・東南アジアに関して三カ国の作業部会立ち上げ。
- アフガニスタンの復興と開発へのコミットメント再確認。
- 援助の効果に関するハイレベル・フォーラム（11 月、釜山）の成功のために協力。

●三カ国事務局

- 三カ国による事務局の設置を模索することで一致。